

# 平成28年度事務事業評価 評価調書

<b>事務事業名</b> 地域医療対策事業	記載日 平成 29 年 2 月 28 日
事業コード 会計区分 4 款 1 項 1 目	担当部課等名 民生部保健福祉課
継続実施期間 <input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( 年度~ 年度)	責任者職氏名 課長 小谷英充
実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 係長 田村明彦
総合計画での位置付け 基本方針 住み慣れたところで健やかに暮らせる生活づくり 基本目標 安心して健やかに暮らせるまちづくり 施策目標 地域医療の確保	関連する計画、条例等

## I 事務事業の概要【Plan】

<b>(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等</b> 町民が安心して医療が受けられるよう、地域の医療機関の医療機器の整備や施設整備、さらには医師の確保や休日または夜間における初期救急医療、2次救急医療、小児救急医療体制の維持拡充を図る。	<b>(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成28年12月1日</b> 町民
<b>(3) 期待される効果</b> 休日または夜間における初期救急医療体制、さらに2次救急医療や小児救急医療体制が確保される。 また、医師配置や医療機器の整備に対する財政援助により、医師の確保及び質の高い医療の提供に資することができ、地域の医療水準が維持される。	<b>(4) 事務事業を進める上での課題、問題点</b> 地方の医師不足が深刻な状況のなか、日曜・休日当番医(1次救急医療)の確保、各診療科目における安定的な医師の確保が課題となっている。

## II 事務事業の実施結果【Do】

	平成26年度 決算額	平成27年度		平成28年度 予算額
		予算額	決算額	
予算(決算)額	225,066	238,373	237,684	211,031
財 源 内 訳	国庫支出金	5,753	8,892	5,762
	道支出金			
	分担金・負担金			
	使用料・手数料			
	起債	61,400	94,500	80,000
	その他特財	2,848	2,830	2,851
	一般財源	155,065	238,373	131,462

01 報酬	15 工事請負費
02 給料	16 原材料費
03 職員手当等	17 公有財産購入費
04 共済費	18 備品購入費
07 賃金	19 負担金補助及び交付金
08 報償費	20 扶助費
09 旅費	21 貸付金
10 交際費	22 補償補填及び賠償金
11 需用費	23 償還金利子及び割引料
12 役務費	25 積立金
13 委託料	27 公課費
14 使用料及び賃借料	28 繰出金

左の合計 **237,684**

No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成28年度 目標値	平成27年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	休日医療体制日数	休日医療体制の日数	日	72	72	72	100%	72	29
	成果指標	実施率	実施日数/休日日数	%	100	100	100	100%	100	29
②	活動指標	事業補助額	病院輪番制事業に対する補助金交付額	千円	9,000,000	8,996,000	8,940,000	99%	8,940,000	29
	成果指標	病院輪番制の稼働率	稼働日数÷365日	%	100	100	100	100%	100	29

○活動指標(達成率平均値) **100%**  
 ○成果指標評価値(達成率平均値) **100%** (α)

## III 事務事業の評価【Check】

評価項目	評価結果	特記事項等
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	地域医療対策事業は町民が安心して医療を受けるための基本的なサービスであり、適切な施設整備と医療機器の整備、運営を行うことにより、それを可能としているため、施策の目的は町の政策体系に大いに貢献している。
② 有効性 期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	町内の医療水準の維持が図られているため、効果がある。
③ 効率性 効率的に進められているか	3 4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率が良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	休日当番病院(1次救急医療)は、医師会など関係機関と連携をしながら進めており、入院治療を必要とする重症救急患者(2次救急医療)は遠軽厚生病院が受け入れるなど、それぞれ分担しており、概ね効率はよい。
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	当事業はすべての町民が対象となっているため、公平である。
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	3 4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	重要度で高い結果が得られ、満足度と重要度すべてで平均を上回っていることから、町民アンケート結果や町民意見を概ね反映しているといえる。

○事務事業評価値 (①~⑤の合計/満点) 18 /20= 90% (β)

(2)検証結果

事務事業名 地域医療対策事業

成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
100%	90%	95%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性【Action】

<p>(1)改善の方向性</p> <p>①改善の方向性【自己評価】 <span style="float: right;">○自己評価する上での特記事項</span></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>C 現状維持</b></p> <p>↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p> </div> <p>町民が今後も安心して医療を受けられるよう、今後も関係機関と連携し、なお一層工夫をしながら地域医療対策事業を推進していく必要がある。</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>遠軽医師会及び各医療機関と連携を保ち、事業の維持を図っていく必要がある。 また、町内だけでなく広域での重要な役割も担っている遠紋二次医療圏の地域センター病院である遠軽厚生病院については、医師不足により、やむを得ず縮小及び休診になっている診療科があり、医師不足が深刻化している。さらに、経営的にも非常に厳しい状況となっており、今後、医師確保対策や財政支援など、新たな支援の要請が想定される。 安定した診療体制や医師確保など、現行の医療水準を維持するためにはある程度の支援は必要だが、慎重に検討して対処していかなければならない。</p>	<p>(2)改善による成果とコストの変化</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>地方の医師不足は非常に深刻で、病院単体でどうにかなる問題ではなくなっている。関係機関と連携を図り、要請活動や情報交換などをより一層活発にして、地域の医療を守る取り組みを進めるべきである。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上				現状維持			○	低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成 果	向上																					
	現状維持			○																		
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>安心して健やかに暮らせるまちづくりを実現するためには、地域医療体制の確保が不可欠であり、医師が不足している診療科目の医師確保を図るべき。</p>	<p>改善の方向性の検討結果</p> <p><b>C</b> A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>地域医療体制を確立するためには、医師確保が重要な課題であり、医師不足解消に向けた取り組みを継続して実施すべき。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p><b>C</b> A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>関係機関と連携し、引き続き地域の医療を守る取り組みを進めること。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p><b>C</b> A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	6	事務事業名	地域医療対策事業
---------	---	-------	----------

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など
	掲載頁	No.		
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	45 137	湧別、佐呂間町ともしっかり連携して運動するべし。	地方の医師不足は非常に深刻です。また、遠軽町だけでできることは限られてしまいます。このため、これまでも湧別、佐呂間町とは連携して、医師確保に取り組んできています。また、紋別保健所を中心に遠紋地域で取り組むこととなっており、今後も協力できるところは近隣市町村と連携して医師確保等に取り組んでいきます。
	自由意見	47 209	医師不足解消の為努力している事はテレビ、新聞等でよく見聞きしております。修学資金の貸与ではなく、条件付きで返還不要になれば理想	平成28年度に新設した本町の修学資金貸付制度は、貸付期間が最大で6年間(360万円)となっており、この修学資金は遠軽厚生病院で初期臨床研修を2年、初期臨床研修終了後、遠軽厚生病院または町内医療機関で後期臨床研修を2年以上受けた場合は、貸付した修学資金の返還が全額免除されます。